

瀬戸内寂聴

99年生きて思うこと

大正、昭和、平成、令和と
4つの時代を生きた作家が語る、
「恋」と「革命」その人生。
密着17年—。誰も知らない瀬戸内寂聴の
金言と数々の秘蔵映像



晩節なんて汚したつていいの。
好きに行動すればいいの。

生きるということは、死ぬ日まで自分の可能性をあきらめず、
与えられた才能や日々の仕事に努力しつづけることです。

寂聴は、死の直前まで月刊誌、新聞の連載をこなす現役作家であり、2020年1月まで行っていた月一回の法話には全国から人が押し寄せる「最長寿の国民的アイドル」だった。自らの体験を私小説の形で次々に発表し、世間からバッシングを受けながらも作家としての不動の地位を確立。51歳で出家し、僧侶と作家の2つの顔を持った。いつまでも恋心を持って生きる—。女性であるということを忘れず人生を楽しむ—。彼女の「生き様」は、不寛容な空気が充満しつつある現代社会で、人間の生命力とは何かを強く感じさせてくれ、くいに生き、老いていけばいいのかというヒントになるにちがいない—。

監督：中村裕 出演：瀬戸内寂聴 (2022年/日本/ドキュメンタリー/95分 ©2022「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」製作委員会)

日時/2023年 **3月10日(金)** ①10:30 ②14:00

会場/アワーズホール **明石市立市民会館大ホール** (JR・山陽「明石」駅から徒歩約15分またはバス約5分)

◆市民会館専用の駐車場はございません。公共交通機関でご来場ください。

料金/前売券：900円 当日券：一般(中学生以上) 1300円 60歳以上、障がい者1100円
市民会館友の会会員900円 小学生以下500円

前売券
発売所

◆アワーズホール・明石市立市民会館 ☎078-912-1234
◆明石市立西部市民会館 ☎078-918-5678

} 9:00~20:00開館、平日の月曜日は休館。

12月2日(金)
発売開始

主催/兵庫県映画センター ☎078-754-5503 共催/アワーズホール・明石市立市民会館 ☎078-912-1234

*新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用でご来場ください。ご入場の際には手指の消毒をお願いします。体調の良くない方はご来場をお控えください。
*名簿作成にご協力をお願いします(下記にお名前・ご連絡先をご記入の上、ご持参ください)。状況により名簿を保健所等へ提出することがあります。
それ以外の目的には使用いたしません。

明石市立市民会館 3月10日(金) 「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」上映会参加者

お名前			
電話番号 (携帯電話可)			